

ネットワーク農縁米、新庄水田トラスト米放射能測定検査結果の報告

報告書番号 110351

放射能測定結果報告書

ネットワーク農縁 殿

報告日: 2011年10月10日
〒136-0071 東京都江東区亀戸2-7-1Zビル4F
特定非営利活動法人有害化学物質削減ネットワーク
TEL&FAX03-5836-4359
測定者 中地 重晴(環境計量士 環 4749号)

貴殿より依頼のあった放射能測定結果を下記の通り報告いたします。

- 試料情報
試料名: 佐藤 玄米
検体番号: 111003-6sinjou-satougenmai 採取日時:
試料收受月日: 2011年10月3日
- 測定情報
測定開始日時: 2011年10月4日16時58分
測定時間: 10800(秒) 試料重量: 1500(g) 試料容器: L
コメント:
- ピーク分析結果

核種名	分析領域(チャンネル)	グロスカウント	ネットカウント 誤差
Cs-134	473~573	2626	387±189
Cs-137	353~468	4020	-346±52.3
K-40			
- 定量分析結果

核種名	エネルギー (KeV)	放出率(%)	効率 (cps/Bq)	放射能濃度 (Bq/kg)	誤差 (%)	検出限界 (Bq/kg)
Cs-134	795.85	85.53	0.020045	ND		5
Cs-137	661.65	85.10	0.032221	ND		5
全セシウム				ND		
K-40	1460.81	10.70				10
- スペクトル図
別紙参照
- 結果に対するコメント
ヨウ素-131のピークは検出されませんでした。
セシウム-134、-137のピークは検出されませんでした。

10月16日、検査数値が届き、自分ではこの数値をどう判断すればいいかわからず、県庁の担当者に直接会って話を聞いてきました。

まず、担当者は開口一番に「随分詳しく調べましたねえ」と話してくれました。

普通、一つの検体あたり、測定時間は1時間(3,600秒)が一般的だそうなので、今回の我々の検査では、10,800秒(3時間)検査にかけてもらっています。ですので、担当者は詳しいと感じたのでしょう。今回検査に出した、有害化学物質削減ネットワークという団体は、米の場合3時間(10,800秒)、枝豆の場合10時間(36,000秒)検査するのだそうです。この団体は、特定非営利活動法人で、日本消費者連盟からの紹介です。日消連と農縁は遺伝子組換え反対運動で15年以上もの付き合いがあるので、今回詳しく調べてもらえるようにと肝いりがあったからかなあと、ありがたく感じているところです。

次に、3のピーク分析結果のところですが、Cs-134、Cs-137というのはセシウムの種類のこと、K-40とはカリウムのことだそうです。グロスカウントというのは機械がカウントする数値の呼び名のことですので、特に気にかけることではないと担当者が言っていました。

次に、4の定量分析結果の中で、放射能濃度(Bq/kg)の欄ですが、NDとはNot Date

(データが出ない)という意味だそうです。検出限界という欄は、「この機械で測定できるのは5Bq/kgまでです」という意味だそうです。ちなみに、国の暫定基準値は1kgあたり500ベクレル、山形県の基準値は1kgあたり20ベクレルですが、それ以下であれば不検出となるわけです。今回調べてもらった機械は非常に微量な値の5ベクレル以下を測定することができる機械にかけてもらったというわけです。そんな精密な機械にかけてもNDなわけですから、「まったく検出されなかった」と胸を張って言えるということです。

最後に、6の結果に対するコメントですが、放射性ヨウ素やセシウムが含まれていると、全く含まれていないのを0とした時、濃度によって高い数値を示すそうで、これをピークと言っているのですが、今回の米には全く含まれていないので、「ピークは出なかった」ということをコメントでも言っているのです。

以上、放射能汚染の心配は全くありません。